

2022 年度

(第60事業年度)

## 事 業 報 告 書

公益財団法人 マリンスポーツ財団



# 目 次

一般概況 .....	1
------------	---

## 第1章 事業活動

### I 公益事業

1 マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業 .....	2
2 マリンスポーツの水上安全啓発事業 .....	8
3 マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と 水上オートバイ専用施設の運営管理事業 .....	10

### II 収益事業

1 二色の浜公園の運営管理の付帯事業 .....	12
2 特殊小型船舶操縦講習事業 .....	14
3 マリンスポーツ施設の運営事業 .....	15
4 オフィスビル賃貸事業 .....	15

### III その他継続事業

1 マリンスポーツ競技等の環境整備事業 .....	15
---------------------------	----

## 第2章 組織運営

I 理事会及び評議員会 .....	17
II 役員等の動向 .....	18
III 監査等 .....	18
IV 事務局運営体制 .....	18
V 規程及び達の改正 .....	18
VI 関係団体との交流 .....	19
VII 環境に配慮した活動 .....	19
VIII 職員等の動向 .....	19
別表1 役員名簿 .....	20
別表2 評議員名簿 .....	20



# 事 業 報 告

(第60事業年度)

2022年4月 1日から

2023年3月31日まで

## 一 般 概 況

当財団は、関係省庁をはじめ自治体、海事関係団体や民間企業などの多くの関係各位の支援・協力のもと、創立60周年を迎えることができた。今後も更なる健全なマリンレジャーの普及振興と安全対策、また海洋環境の保全など事業活動を積極的に推進していくこととする。

2022年度の諸事業は、社会経済活動が再開したこともあり、概ね計画に沿って遂行することができた。とりわけ本年度は、新規事業として4月に「横須賀市港湾緑地公園の運営管理事業」、8月に「オフィスビル賃貸事業」が加わり、また予てより計画していた本部事務所の移転が完了し、中央区築地の自社ビル「AQUAビル」にて新しいスタートを切ることになった。

マリンスポーツ普及事業は、それぞれ各地のガイドラインに従い、参加人数の制限や体験種目を絞り規模を縮小するなどして3年振りに計画どおり実施することができた。

海洋高校生に対してのマリンスポーツ教育実習にて次世代の人材育成を行い、また『未来に残そう私達のマリンフィールド』プロジェクトの一環として、体験乗船会等のイベントではSDGsが楽しく学べる「SDGs Villaage」を開設した。また管理施設に設置した「サービン」（海洋浮遊ごみ自動回収機）にてマイクロプラスチックを採取し大学等教育機関への研究素材として提供を行うなどSDGsへの取組みを推進した。

水上安全啓発事業は、水域の健全利用を推進する自治体の対策会議等に継続して参加し、水上安全に関する研修やマリンスポーツ競技等の安全管理も徐々に再開するなど、地域における安全啓発活動を推進することができた。また水辺の事故が多発する夏のシーズン前にJBWS連携協議会によるオンラインイベントを実施し、水上安全の啓発を行った。

施設マネジメント事業は、各管理施設の感染防止対策を引き続き徹底し、大阪府営二色の浜公園及び横須賀市立ポートパークは通常どおりの施設運営管理を行った。また、共同事業体の一員として、新たに指定管理を行うこととなった神奈川県横須賀市の5公園については、「海辺つり公園」及び「うみかぜ公園」2公園の担当として、初年度の運営管理を無事全うすることができた。なお、大阪府営二色の浜公園は、本年度末をもって、14年間の指定管理業務を終了した。

これら事業で行われた環境保全活動や世界のSDGsを含む水辺に関するニュースなどをホームページやSNSで配信を続け、フォロワー数や登録数の堅調な増加に繋がった。

以上のように、当財団事務所の移転や横須賀市港湾緑地公園の新規事業を開始することができ、また公益事業として助成事業の準備を整え新たに次期事業にて計画することとなった。

# 第1章 事業活動

## I 公益事業

### 1. マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業（公益事業1）

本事業では、関係官庁、自治体、公益団体等との共催・協力のもと、広く一般にマリンスポーツ体験の機会を提供し、マリンスポーツの魅力や楽しさ、水辺の安全知識、ライフジャケットの有用性の啓発活動、海洋環境系ワークショップ等を実施した。

- 該当するSDGs -

4 [教育]・12 [責任]・13 [気候変動]・14 [海洋資源]・17 [パートナーシップ]

#### (1) マリンスポーツを通じた親水活動の推進事業

##### ① 親水イベントの開催・支援

共催・協力事業では、5月に予定していたマリンスポーツフェスタin碧南は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。隅田川での「Marine Sports Festival in 隅田川」、閑空マリーナでの体験乗船会は、事前予約制で参加者を絞るなど、感染拡大防止策を講じて地元主催者と共同して実施した。また、3月には、新規共催、協力事業として、海の森水上競技場での体験乗船会、米海軍横須賀基地でのマリンスポーツデモンストレーションを、それぞれの施設管理者とともに、実施することができた。

期 日	行事名称	場 所	参加人数	前年度
5/29	Marine Sports Festival in 隅田川 (共催：協同組合浅草商店街連合会)	東京都台東区 (隅田川)	83	149
7/15	「いざみさの閑空マリーナ」海洋体験 (主催：泉佐野ウォーターフロント株)	大阪府泉佐野市 (いざみさの閑空マリーナ)	29	-
3/4-5	海の森水上競技場 『セーリングカヌー体験』 (主催：海の森水上競技場マネジメント共同事業体)	東京都江東区 (海の森水上競技場)	55	-
3/25	日米親善よこすかスプリングフェスタ2023 『アクアボードデモンストレーション』 (主催：米海軍横須賀基地)	神奈川県横須賀市 (米海軍横須賀基地前面水域)	20,000 (来場者)	-

##### ② 「未来に残そう私達のマリンフィールド」プロジェクトの展開

体験乗船会等の親水イベントで海洋環境系のワークショップを展開し、次世代にきれいな海を残すための活動の紹介や、指定管理施設でごみゼロをテーマにしたプロジェクトを実施した。

期日	場所	内容	参加人数
6/4	神奈川県横須賀市 海辺つり公園	うみかぜカーニバルにおいて、座学講習で SDGsについての講習を実施	55
7/12	神奈川県横須賀市 浦賀ポートパーク	千葉大学2年生によるシービンの見学とシービンとボートで回収した海洋ゴミからマイクロプラスチック採取と調査・研究	8
7/29 - 30	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園	うみかぜカーニバルにおいて、環境系ワークショップを集めた「SDGs Village」を開催	200
9/26	神奈川県横須賀市 深浦ポートパーク	うみかぜカーニバルにおいて、環境系ワークショップを開催	109
9/28	神奈川県横須賀市 浦賀ポートパーク	環境活動家によるInstagram配信用のシービン紹介動画の撮影 (フォロワー数1.5万人　いいね2,248人)	15,000
12/3	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園	第1回『YOKOSUKA うみかぜ Gomi O Park』の開催	727
1/7	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園	第2回『YOKOSUKA うみかぜ Gomi O Park』の開催	580
1/19	大阪府堺市 堺浜自然再生ふれあいビーチ	民間企業と協働し『水上ドローンによる海洋ゴミ回収実証実験』を実施	
2/4	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園	第3回『YOKOSUKA うみかぜ Gomi O Park』の開催	964
3/4	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園	第4回『YOKOSUKA うみかぜ Gomi O Park』の開催	1,800
3/21	神奈川県横須賀市 深浦ポートパーク	深浦ポートパークに、(株)カネボウ化粧品から寄贈された海洋プラスチックゴミ回収装置(シービン)を設置	
3/21	神奈川県横須賀市 深浦ポートパーク	横須賀市立浦郷小学校4年1組との共催で、『どこでもぴかぴか大作戦』を実施	30

### ③ ライフジャケットの着用推進活動

今年度は、コロナ禍以降ライフジャケットレンタルステーションが設置された20か所の海水浴場のすべてが開設され、うち4か所を除いたレンタルステーションが再開した。

#### a. ライフジャケットレンタルステーションの利用状況

	設置場所		本年度	前年度
1	神奈川県逗子市	逗子海岸海水浴場	2,606	601
2	静岡県湖西市	新居弁天海水浴場	92	73
3	静岡県浜松市	弁天島海水浴場	13	—
4	神奈川県鎌倉市	由比ガ浜海水浴場	73	—
5	神奈川県鎌倉市	材木座海水浴場	329	—
6	神奈川県鎌倉市	腰越海水浴場	15	—
7	神奈川県藤沢市	片瀬東浜海水浴場	※	—
8	神奈川県藤沢市	片瀬西浜海水浴場	※	—

	設置場所		本年度	前年度
9	神奈川県横浜市	海の公園 海水浴場	33	89
10	兵庫県神戸市	須磨海水浴場	271	—
11	神奈川県茅ヶ崎市	ザザンビーチちがさき	195	—
12	神奈川県足柄下郡	湯河原海水浴場	※	—
13	福島県相馬市	原釜尾浜海水浴場	27	34
14	神奈川県平塚市	湘南ひらつかビーチパーク	7	—
15	新潟県聖籠町	網代浜海水浴場	※	—
16	京都府宮津市	天橋立海水浴場	108	44
17	京都府宮津市	丹後由良海水浴場	49	26
18	福岡県糟屋郡	新宮海水浴場	292	243
19	千葉県長生郡	一宮海水浴場	218	—
20	茨城県大洗町	大洗サンビーチ海水浴場	2	—
21	鹿児島県大島郡	スキンダイビング与論	新規	—
	合計		4,330	1,110

※レンタルステーション非開設

#### ④ 次世代の人材育成

海事産業の次世代を担う海洋高校生を対象に、各種マリンスポーツの体験や安全対策、海洋環境等に関する知識を深めるとともに、マリンスポーツを通じた地域社会の活性化を図ることを目的に本事業を実施した。なお、実施にあたり、各学校の実施基準に基づく感染防止対策のもと、マリンスポーツ実習を実施した。

##### a. 海洋高校等に対するマリンスポーツ教育等の支援

###### (a) 神奈川県立海洋科学高等学校のマリンスポーツ実習

###### ① ディンギー実習

実施期日 5月6日・5月13日・5月20日（3回）

実施場所 校内、浦賀湾

対象 2年生 4名

###### ② カヌー指導員トレーナー資格取得に向けた講習、普通救命講習、海の安全についての講習

実施期日 5月27日・6月3日・6月10日・6月17日（4回）

実施場所 校内、森戸海岸

対象 2年生 4名

###### ③ SUP指導員3級取得に向けた講習

実施期日 9月2日・9月9日（2回）

実施場所 浦賀湾

対象 2年生 4名

① ウィンドサーフィン実習

実施期日 9月16日・9月30日（2回）

実施場所 三浦海岸

対 象 2年生 4名

(b) 新潟県立海洋高等学校マイスターhausen事業への企画

② 特殊小型船舶操縦士免許の取得に向けた水上オートバイの操船体験

実施期日 7月21日（1回）

実施場所 能生海岸（新潟県糸魚川市）

対 象 1年生 72名

③ シーシニア資格取得講習会

実施期日 8月1日・8月2日・8月3日（3回）

実施場所 久里浜海岸・三浦海岸

対 象 先生 1名

④ イベント運営と企画について（座学講習）

実施期日 9月14日（1回）

実施場所 校内

対 象 1年生 78名

⑤ イベント開催に向けて（座学講習）

実施期日 9月15日・16日（2回）

実施場所 校内

対 象 2年生 16名

⑥ イベントシミュレーション実習

実施期日 9月30日・10月1日（2回）

実施場所 校内・能生海岸

対 象 2年生 16名

b. 次世代人材の育成に関する新たな取組等の調査研究

(a) 学生に対する奨学金（助成金）制度の調査研究

2023年度から公益事業の4として、助成事業を確立し、管轄官庁の内閣府に  
対し認定申請を行うための協議に入った。

⑦ 広報活動の拡充

当財団の事業及び世界の水辺に係るニュースを主体に、SDGsを含めた情報

(45回) をホームページはじめ、SNSによる情報発信を実施した。

	掲載数	年度当初 フォロワー数	目標 フォロワー数	フォロワー数
ホームページ	68回			
Facebook	250回	1,351名	1,700名	14,057名
Twitter	249回	484名	1,000名	1,851名
YouTube	52回	516名	1,000名	724名

#### a. 創立60周年に向けたデータ整理等

当財団創立60周年の年史は、前回の創立50周年のあゆみに加え、この10年間のデータを整理し、2023年3月20日の創立記念日において、ホームページ上に掲載した。

### (2) 管理施設を活用したマリンスポーツの啓発事業

#### ① 管理施設におけるマリンスポーツの啓発活動

神奈川県横須賀市の各指定管理施設において、浦賀ポートパークでは、同市ならびに地元企業等の協力のもと、マリンイベントを実施、同市の感染予防対策ガイドラインに準拠しながらマリンスポーツにおける安全啓発を行った。

##### a. うみかぜカーニバル in 海辺つり公園

実施期日 6月4日（土）

実施場所 神奈川県横須賀市 海辺つり公園

実施内容

- ・うみかぜ釣り大会
- ・水辺の安全教室
- ・ライフジャケット装着デモンストレーション
- ・釣り教室と海洋環境について

参加人数 18組55名

##### b. うみかぜカーニバル in うみかぜ公園

実施期日 7月29日（土）・30（日）

実施場所 神奈川県横須賀市 うみかぜ公園

実施内容

- ・体験操船会
- SUP、BIGSUP、フローティングバイク
- ・体験乗船会
- キッズボート
- ・マリンスポーツデモンストレーション
- 水上オートバイフリースタイル、アクアボード
- ヨット（49級）、ウインドサーフィン
- ・横須賀海上保安部、横須賀税関支署等のブース出展
- ・パリオリンピック応援ブース 他
- ・SDGs ビレッジ

参加人数 200名

c. うみかぜカーニバル in 深浦

実施期日 9月11日（日）

実施場所 神奈川県横須賀市 深浦ポートパーク

実施内容

- ・体験乗船会
- プレジャーボート
- ・水辺の安全教室
- 横須賀海上保安部

参加人数 108名

d. うみかぜカーニバル in 浦賀

実施期日 10月16日（日）

実施場所 神奈川県横須賀市 浦賀ポートパーク

実施内容

- ・体験乗船会
- キッズボート、S U P、フローティングバイク
- ・浦賀ドック及び住友重機械工業（資料館）の見学会
- ・水辺の安全教室

参加人数 136名

e. うみかぜマリンスポーツスクール

実施期日 8月21日・8月22日・9月4日（3回）

実施場所 神奈川県横須賀市 うみかぜ公園

実施内容

- ・S U P
- ・S U P ヨガ

参加人数 7名

f. TOYOTA ソーシャルFES in 二色の浜

実施期日 10月9日（日）

実施場所 大阪府貝塚市 二色の浜公園

実施内容

- ・体験乗船会
- キッズボート、カヌー、S U P、B I G S U P、水上オートバイ
- ・S D G s を学ぶイベント
- 海中ゴミ（マイクロプラスチック）回収して実態を学ぶ

参加人数 80名（35名、ライブ配信参加45名）

## 2. マリンスポーツの水上安全啓発事業（公益事業2）

本事業では、国土交通省、海上保安庁、及び水上安全啓発団体等との連携により、研修や、オンラインイベント等を通じて、水上安全の更なる向上を図った。

(1) 小型船舶の安全運航及び水上安全の普及啓発

① 地域における安全啓発活動の充足

関西地区における水上オートバイ等の安全施策について、第五管区海上保安本部、関西小型船安全協会、兵庫県、明石市等との対策会議や研修を通じて課題の共有や対策の検討に協力した。

a. 新海上安全指導員（民間ボランティア）育成に対する協力

(a) 水上オートバイ安全指導研修

第五管区海上保安本部所轄の保安部署係員に対する水上オートバイ安全講習会に向けた研修を実施した。

実施期日 7月12日

実施場所 大阪府貝塚市二色の浜公園

参加者 第五管区海上保安部安全対策課員5名

b. 地域活動に対する協力、支援

(a) 水上オートバイ対策に関する連絡調整会議

主 催 兵庫県

実施期日 6月2日、30日

実施場所 兵庫県神戸市

参加団体 兵庫県関係機関、警察、運輸局、保安部、漁業者、啓発団体等

検討内容 水上オートバイに関する条例改正、今後の活動等に関する協議

(b) 海岸域の安全利用に係る連絡会議

主 催 兵庫県明石市

実施期日 6月6日、11月25日

実施場所 兵庫県明石市

参加団体 明石市関係機関、警察、運輸局、保安部、漁業者、啓発団体等

検討内容 水上オートバイに関する情報共有、今後の活動に関する協議

(c) 二色の浜海域合同パトロール

実施期日 4月24日

実施場所 大阪府貝塚市二色の浜周辺海域

参加団体 岸和田海上保安署、(公社)関西小型船安全協会、二色ハーバー

指導内容 水上オートバイ利用者への安全指導

(d) T P S P (水上オートバイ) 安全講習会への協力

実施場所 東京都江東区他

実施期日 4月2日・6月5日、23日・7月28日、31日・8月21日  
 9月11日、29日・10月20日、30日・11月20日  
 1月15日・2月5日・3月12日、16日（15回）  
 実施内容 東京港及び周辺水域の健全利用、安全、マナーに係る講習  
 参加対象 水上オートバイ一般利用者  
 受講者数 509名（昨年度1, 161名・通算6, 377名）

（e）JPBOT（日本小型水難救助艇操縦士養成所）研修への協力

実施期日 4月12日、13日  
 実施場所 兵庫県明石市  
 実施主体 一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会  
 参加者 水域利用団体、小型船舶免許教習所等関係者9名  
 研修内容 水上オートバイの公的利用者育成

c. 連携ネットワークの構築

新設したMaris サポーター制度による「Water Safety パートナー」として8団体を登録した。

② 安全講習会の実施

a. ウオーターセーフティエキスパート（Maris 救命コース）

実施予定 12月6日  
 実施場所 神奈川県横須賀市  
 実施内容 管理施設向け救急救命講習  
 受講者 施設管理スタッフ10名

b. 安全運航講習会

運輸安全委員会の事故調査官に対して、水上オートバイとトーイングの研修を行い、事故調査の専門性向上に協力した。

実施期日 10月6日  
 実施場所 大阪府貝塚市二色の浜公園  
 参加者 運輸安全委員会事故調査官6名

③ マリンスポーツにおける安全管理体制の整備、強化

マリンスポーツイベントや競技会において海域の警戒及び救助等安全管理体制を整備し、競技会等の安全性向上に努めた。

期日	内 容		場 所
中止	NOWS三宅島OWS大会	安全管理	東京都三宅島
8/21	NOWS三浦OWS大会	安全管理	神奈川県三浦市
9/10	湘南オープンウォータースイミング	安全管理	神奈川県逗子市

## (2) 国内外における水上安全に関する連携強化

- ① J B W S S (Japan Boating & Water Safety Summit) : 国内における水上安全サミットの実施

当財団を含む J B W S S 連携協議会では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、2021年度に引き続きオンラインにてウォーターセーフティガイドに掲載されている各アクティビティの参画団体が、一般ユーザーに向けてどのように工夫してメッセージを伝え、その情報をどのように発信しているかを視聴参加の方々に伝えるイベントを開催し、記録動画を YouTube にて配信した。

a. 『楽しい！× 水辺！』～私たちの ○○セーフティガイド!!～

実施期日 7月29日（金）

実施場所 オンライン

主 催 J B W S S 連携協議会（構成団体：当財団、水難学会  
日本海洋レジャー安全・振興協会）

共 催 関東小型船安全協会、舵社、国土交通省海事局、海上保安庁

参加人数 55名

## 3. マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と水上オートバイ専用施設の運営管理事業（公益事業3）

大阪府営二色の浜公園は、昨年に引き続き園内の感染防止対策を維持しながらスポーツ施設及び水上オートバイ施設は通常開設とした。また、隣接する二色の浜海水浴場は不開設となり、浜辺の監視体制が無くなつたことから、水上オートバイと遊泳者の安全確保のため、自主的に侵入禁止のゾーニング（侵入禁止ゾイの設置）を行い、水上オートバイ利用者への安全に関する指導、周辺海域の監視など適正な運営を図った。

なお、本年度を以て、14年間にわたる本公園の指定管理業務は終了となった。

- 該当するSDGs -

3 [保健]・4 [教育]・13 [気候変動]・14 [海洋資源]・15 [陸上資源]

### (1) 大阪府営二色の浜公園の運営管理事業（指定管理事業）

管理期間 2022年4月1日から2023年3月31日

所在地 大阪府貝塚市

管理施設 公園、スポーツ施設管理（野球場、テニスコート他）

水上オートバイ施設（検艇所、スロープ他）

業務内容

- ・施設の適正な維持管理と運営

- ・施設の有効活用

- ・利用者サービスの向上

- ・来園者に対する啓発活動（環境保全、海上安全指導等）

- ・周辺海域の安全管理（海上安全パトロール、救助支援等）

- ・マリンスポーツ等の普及活動

(体験乗船会、イベント、安全指導等講習会)

① 公園利用状況

a. 公園利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
来園者	56,108	115,916	57,512	70,132	71,472	50,676	56,376	43,148
テニスコート	864	1,207	1,392	2,592	1,327	2,638	1,065	650
軟式野球場	149	661	799	360	488	468	456	412
球技広場	988	960	968	826	435	2,259	1,386	1,096
スポーツ広場	16	110	126	90	56	80	200	70

区分	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
来園者	20,444	27,092	22,232	48,504	639,612	444,948	144%
テニスコート	561	391	461	1,396	14,544	8,233	177%
軟式野球場	272	245	274	643	5,227	4,398	119%
球技広場	990	595	675	831	12,009	10,129	119%
スポーツ広場	406	20	128	306	1,608	1,097	147%

b. 水上オートバイ専用施設利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
利用船舶	72	144	230	459	465	186	102	31
新規登録	8	18	46	52	40	17	11	6
更新登録	4	7	22	38	28	9	4	3

区分	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
利用船舶	26	34	51	83	1,883	1,624	116%
新規登録	4	3	2	2	209	193	108%
更新登録	2	0	0	1	118	105	112%

(2) 横須賀市立港湾緑地公園の運営管理事業（指定管理事業）

管理期間 2022年4月1日から2023年3月31日

所在地 神奈川県横須賀市

管理施設 うみかぜ公園（スポーツ広場、遊具広場、芝生広場、その他）

海辺つり公園（広場、釣り広場）

業務内容

- ・施設の適正な維持管理と運営
- ・施設の有効活用
- ・利用者サービスの向上
- ・来園者に対する啓発活動
- ・マリンスポーツ等の普及活動（イベント等の開催）

## ① 公園利用状況

### a. うみかぜ公園利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
来園者	16,461	29,396	14,341	18,539	17,322	11,682	20,941	14,502
スポーツ広場	3,866	4,632	3,209	5,343	3,570	3,715	4,601	3,739
遊具広場	1,865	2,409	1,231	739	1,018	1,078	1,880	1,932
芝生広場	6,538	13,619	5,332	6,488	7,006	3,477	8,472	4,988
他	4,192	8,736	4,569	5,969	5,728	3,412	2,567	1,982

区分	12月	1月	2月	3月	合計
来園者	7,845	8,386	9,041	14,118	182,574
スポーツ広場	3,134	3,498	3,628	4,861	47,796
遊具広場	1,253	1,464	1,508	2,104	18,481
芝生広場	1,660	1,589	1,659	3,328	64,156
他	617	506	700	1,410	40,388

### b. 海辺つり公園利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
来園者	4,265	8,288	6,401	4,484	4,517	4,265	6,406	5,605
広場	2,039	3,579	2,602	1,998	1,677	2,039	2,506	2,440
つり広場	2,226	4,709	3,799	2,486	2,840	2,226	3,900	3,165

区分	12月	1月	2月	3月	合計
来園者	3,053	2,808	2,476	4,844	57,412
広場	1,401	1,441	1,389	3,115	26,226
つり広場	1,652	1,367	1,087	1,729	31,186

## II 収益事業

### 1. 二色の浜公園の運営管理の付帯事業（収益事業1）

本事業は、公益事業3に付帯する事業であるため、駐車場管理や物販をはじめ、公園の魅力や利便性の向上を図るために、バーベキュー施設に関しては、お客様に安心して利用していただくために、大阪府より感染症対策認証飲食店「大阪府ゴールドステッカー」を取得し営業を行った。なお、野外炉は、4月1日から5月31日の土日祝日のみ営業し、6月4日より、通常開設とした。なお、指定管理業務の終了に伴い、本事業も本年度を以て終了となった。

#### (1) 海浜公園における駐車場及び付属施設の管理

実施時期 2022年4月1日から2023年3月31日

実施場所 大阪府貝塚市（沢、脇浜、海浜緑地）

業務内容 駐車場、付属施設の運営及び維持管理

## 利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
入場車両	4,956	9,870	4,997	6,302	6,551	4,558	5,089	3,820
野外炉利用者	311	624	429	634	638	458	377	339

区分	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
入場車両	1,778	2,401	2,004	4,460	56,786	40,932	139%
野外炉利用者	0	0	0	275	4,085	596	685%

## (2) 海浜公園における自主事業

### ① 公園の魅力・利便性向上の取組み

実施内容

- B B Q レンタル
  - ・マリンスポーツ器材のレンタル・水上オートバイ体験乗船会
  - ・D A Y キャンプ、ドッグフリーD A Y キャンプ

実施場所 二色の浜公園（沢地区、海浜緑地）

利用者数 2, 678人

利用状況（沢）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
B B Q レンタル	0	0	0	307	772	179	139	0
マリンスポーツ 器材レンタル	0	0	0	0	0	0	0	0
D A Y キャンプ	0	0	0	232	299	90	0	0

区分	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
B B Q レンタル	0	0	0	0	1,397	0	—
マリンスポーツ 器材レンタル	0	0	0	0	0	0	—
D A Y キャンプ	0	0	0	0	621	22	2,822%

※7月より実施

### 利用状況（海浜緑地）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
B B Q レンタル	0	0	0	0	0	0	0	0
マリンスポーツ 器材レンタル	0	0	0	0	0	0	15	0
D A Y キャンプ	0	242	56	38	42	7	39	0
ドッグフリー D A Y キャンプ	0	64	12	23	17	9	74	4

区分	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
B B Q レンタル	0	0	0	0	0	0	—
マリンスポーツ 器材レンタル	0	0	0	0	15	0	—
D A Y キャンプ	0	0	0	0	424	18	2,355%
ドッグフリー D A Y キャンプ	4	14	0	0	221	17	1,300%

※5月1日より土日祝日のみ実施

## 2. 特殊小型船舶操縦講習事業（収益事業2）

本事業では、水上オートバイのルールやマナー、安全意識の向上に重点をおいた免許取得講習会を次のとおり実施するとともに国家試験に協力した。

- 該当するSDGs -

4 [教育]・14 [海洋資源]

### (1) Maris ジェットスクールの運営事業

#### ① 試験コース

次のとおり講習会を7回開催し、国家試験が15回実施された。

期 日	種 別	場 所	人 数	
			講習	試験
5/7・21・6/8・24・7/14・30 8/26・9/17	特殊小型船舶操縦士試験	二色の浜公園海浜緑地	—	40
4/16	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	11	—
4/17	特殊小型船舶操縦士試験	多摩川ボートレース場	—	10
4/29	Maris ジェットスクール	桐生ボートレース場	12	—
4/30	特殊小型船舶操縦士試験	桐生ボートレース場	—	13
5/25	Maris ジェットスクール	桐生ボートレース場	9	—
5/26	特殊小型船舶操縦士試験	桐生ボートレース場	—	9
6/11	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	19	—
6/12	特殊小型船舶操縦士試験	多摩川ボートレース場	—	19
8/6	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	19	—
8/7	特殊小型船舶操縦士試験	多摩川ボートレース場	—	17
8/18	Maris ジェットスクール	桐生ボートレース場	11	—
8/19	特殊小型船舶操縦士試験	桐生ボートレース場	—	18
9/3	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	12	—
9/4	特殊小型船舶操縦士試験	多摩川ボートレース場	—	12
9/27	Maris ジェットスクール	桐生ボートレース場	13	—
9/28	特殊小型船舶操縦士試験	桐生ボートレース場	—	13
10/15	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	15	—
10/16	特殊小型船舶操縦士試験	多摩川ボートレース場	—	15
合 計			121	166

### 3. マリンスポーツ施設の運営事業（収益事業3）

- 該当するSDGs -

4 [教育]・13 [気候変動]・14 [海洋資源]

#### （1）マリンスポーツ関連施設の管理・運営（指定管理業務）

横須賀市立深浦ポートパーク、浦賀ポートパークでは、感染防止対策を引き続き実施し、通常どおり運営を行った。なお、施設を活用した地元自治会イベントや体験クルーズなども通常どおり開催し、無事事故もなく終了することができた。

施設利用数

(2023年3月31日現在)

	深 浦	浦 賀	計	前年度	前年比
係留船舶数	109 隻	64 隻	173 隻	167 隻	104%
駐車場利用台数	14,839 台	4,742 台	19,581 台	20,932 台	94%

### 4. オフィスビル賃貸事業（収益事業4）

当財団所有のAQUAビル（地上6階、地下2階）において、当財団本部事務所として使用するほか、一般に対し事務所の賃貸を行った。

所在地 東京都中央区築地4-3-11

賃貸施設 事務所 13室（全13室賃貸中）

倉庫 4区画（3区画賃貸予定、1区画を当財団使用）

業務内容 事務所及び倉庫の賃貸

空きスペースの有効活用

## III その他継続事業

### 1. マリンスポーツ競技等の環境整備事業

#### （1）マリンスポーツ競技団体等の活動支援

##### ① 競技団体に対する運営支援

支援内容	支 援 先
運営支援	(特非)日本水上スキー・ウェイクボード連盟 (JWWF)
	全日本学生水上スキー連盟 (JCWSF)
	日本ジェットスポーツ連盟 (JJSF)
	日本パワー・ボート協会 (JPBA)
運営協力	(一社)日本アマチュアボートレース協会 (JABA)
	日本ソーラー・人力ボート協会 (JSCHA)

② マリンスポーツ競技会の安全管理体制整備

期 日	内 容	場 所
6/26	パワー ボート 都連 シリーズ 第 1 戦	茨城県 神栖市
7/23-24	パワー ボート レース in 東京湾	千葉県 木更津市
9/4	パワー ボート 都連 シリーズ 第 2 戦	茨城県 神栖市
10/16	パワー ボート 都連 シリーズ 第 3 戦	茨城県 神栖市
11/26-27	芦ノ湖 グリーンカップ レース	神奈川県 箱根町

## 第2章 組織運営

### I. 理事会及び評議員会

本年度は、理事会を4回、評議員会を3回開催した。

#### 1. 理事会

回	期日	場所	議題
第31回	2022年6月8日	笹川記念会館4階第1会議室	(1) 報告事項 ・大阪府営二色の浜公園の次期指定管理者の結果について ・会長及び常務理事の職務執行状況報告について (2) 2021年度事業報告及び決算報告(案)の承認について (3) 次期会長、理事長、常務理事の選定について (4) 定款の変更(案)について (5) 規程の一部改正(案)について (6) その他緊急を要する件(基本財産の運用について)
第32回	2022年8月1日	書面決議	(1) 会長、理事長、常務理事の選出について
第33回	2022年12月14日	当財団会議室	(1) 報告事項 ・2022年度上半期の事業実施経過報告について (2) 2023年度新規公益事業(助成事業)の承認について (3) 定款の一部変更(案)について
第34回	2023年3月15日	当財団会議室	(1) 報告事項 ・会長及び常務理事の職務執行状況報告について (2) 2023年度事業計画及び予算(案)並びに付帯決議案の議決について (3) 規程の一部改正(案)について

#### 2. 評議員会

回	期日	場所	議題
第19回	2022年4月25日	笹川記念会館4階第1会議室	(1) 報告事項 ・2022年度事業計画及び予算計画について ・その他(大阪府営二色の浜公園の次期指定管理者指定申請の結果について) (2) 任期満了に伴う次期役員(理事、監事)の選任について (3) 事務所ビルの購入について
第20回	2022年6月27日	(公財)全日本空手道連盟会議室	(1) 報告事項 ・第31回理事会の開催結果について (2) 2021年度事業報告及び決算(案)の議決について (3) 定款の一部変更(案)について (4) 規程の一部改正(案)について (5) 任期満了に伴う非常勤役員に対する退任慰労金支給について

回	期日	場所	議題
第21回	2022年 12月14日	当財団会議室	(1) 報告事項 ・ 2022年度上半期の事業実施経過報告について ・ 第33回理事会の開催結果について (新規公益事業（助成事業）の承認について) (2) 定款の一部変更（案）について (3) 常勤理事の報酬額について

## II. 役員等の動向

2022年4月25日、第19回評議員会において、第6期理事・監事が選任され、堀越富士夫氏が新任理事として、石川貴博氏が新任監事として就任した。また、関田宏理事が2022年6月27日付で任期満了に伴い退任となった。

## III. 監査等

本年度は、次のとおり実施された。

期日	実施者	場所	内容
2022年 6月2日	当財団監事	当財団会議室 (東京都港区三田3-14-10)	2021年度事業報告及び決算
2022年 10月25日 11月14日 ～15日	横須賀市 監査委員 事務局	横須賀市役所監査委員室 深浦ボートパーク	①ボートパークの管理に係る令和3年度（2021年度）における出納その他の事務 ②ボートパークを所管する部局の指導監督に係る事務

## IV. 事務局運営体制

本年度、事務局では、リモートワークと時差出勤の併用により感染対策を行った。

なお、事務所内においては、マスクの着用、室内換気、手洗い励行、手指消毒等を継続して実施

## V. 規程及び達の改正

種類	規程等の名称	改正等の期日	改廃等
規程	役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規定	2022年6月27日	一部改正
	組織規程	2023年3月15日	一部改正
	職員就業規程	2023年3月15日	一部改正
	旅費規程	2023年3月15日	一部改正
	職員給与規程	2023年3月15日	一部改正
	会計処理規程	2023年3月15日	一部改正
	嘱託職員及び臨時職員の就業に関する規程	2023年3月15日	一部改正
達	助成事業選考委員会に関する達	2022年12月27日	制定

## VI. 関係団体との交流

本年度は、次のとおり関係団体との交流や、海事業界との情報交換等を行い、当財団の円滑な運営を図った。

### 1. 官庁・海事関連団体等

主 催 団 体	出席回数	会 議 内 容
海上保安庁	1	意見交換会、研修会等
日本マリン事業協会	2	P W C 部会
P W 安全協会	1	総会
UM I 協議会	5	連絡調整会議、マリンイベント実施

## VII. 環境に配慮した活動

環境に配慮した事業活動を行い、業務改善見直しによる省エネ、コストダウンを図るとともに、日常の管理活動を維持、継続することにより職場環境の向上を図り、環境影響への負荷を低減した。

## VIII. 職員等の動向

本年度は、横須賀市港湾緑地（海辺つり公園、うみかぜ公園）の指定管理業務の開始に伴い、新たに嘱託職員2名、職域職員1名を雇用したが、そのうち職域職員1名が年度内に退職した。また、大阪府営二色の浜公園の指定管理業務終了に伴い、同公園勤務の職域職員3名及び臨時職員全員が2023年3月31日を以て退職となった。

なお、年度末における職員数は、職員7名、職域職員1名、嘱託職員4名、臨時職員12名であった。

## 別表. 1

役員名簿（第6期）

2023年3月31日現在

役職名	氏名	所属
会長	笹川 善弘	
常務理事	岡村 一臣	
理事	松木 勇	学識経験者
理事	中島 敬夫	株式会社 三益産業 代表取締役
理事	堀越 富士夫	衆議院議員 笹川博義秘書
監事	大濱 秀夫	株式会社新東通信
監事	石川 貴博	学識経験者

任期：2022年6月27日から2年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで

(2024年6月)

## 別表. 2

評議員名簿（第3期）

2023年3月31日現在

役職名	氏名	所属
評議員	梶原 義明	学識経験者
評議員	笹川 和弘	社会福祉法人親孝行の里 理事長 関東開発株式会社 代表取締役会長
評議員	本間 徹	特定非営利活動法人 日本水上スキー・ウェイクボード連盟会長
評議員	北田 靖則	公益財団法人献血供給事業財団 理事長
評議員	糸川 正晃	学識経験者（元衆議院議員）
評議員	金子 光夫	学識経験者（元当財団理事長）

任期：2022年6月27日から4年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで

(2026年6月)



2022年度事業報告書は、以上のとおりです。

2023年3月31日

会長 笹川善弘 印

2022年度事業報告書に基づき監査した結果、いずれも事業報告書のとおり  
事業が完了したことを認めます。

2023年 月 日

監事 大濱秀夫 印

監事 石川貴博 印